

土付き苗の温浴に関するアンケート結果

1. 実施要領

(1) 調査の目的

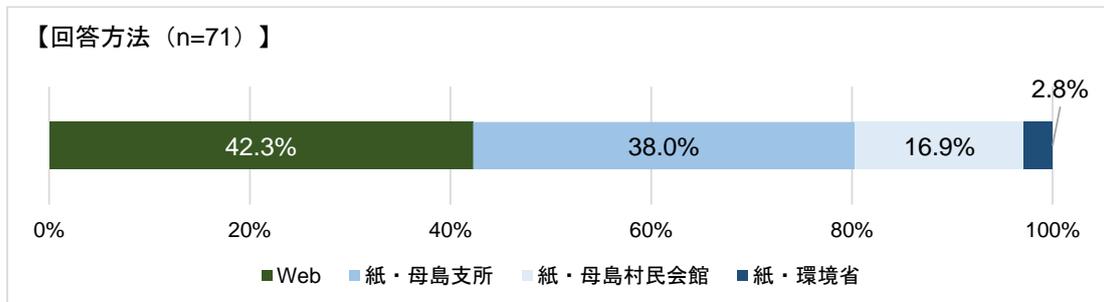
- ・「ははの湯」の本格運用に向けて、土付き苗の持ち込み及び温浴処理の実施等に関する母島島民の意識やニーズを把握する。

(2) 実施方法

- ・対象者：母島全世帯
- ・配布方法：全戸配布（配布部数：240部）
- ※ははの湯チラシ（過去に全戸配布）及び案内文を同封
- ・回答（回収）方法：Web、紙（回収箱への投函）
- ※回答方法は、回答者で任意に選択。回収箱は小笠原村役場母島支所、母島村民会館、環境省母島事務室に設置。
- ・調査期間：1月19日（水）～2月10日（木）

(3) 回収状況

- ・71件、回収率29.6%
- ・回答方法の内訳は下図のとおりで、回答者の約4割がWeb、約6割が紙（回収箱への投函）であった。



2. 調査結果総括

【「ははの湯」や外来種対策の必要性に関する認知度】

- ・「ははの湯」について、6割が内容を含めて認知していた一方で、2割は全く知らなかったとの回答であった。
 - ・一方で、土付き苗のリスクについては、9割が認識していた。
- ⇒今回の回答者は、外来種対策等に関して比較的関心の高い層が多かった可能性が考えられる。それでもなお、2割が「ははの湯」を認知していない、という点は課題と考えられる。
- ⇒「ははの湯」を知ったきっかけとして、「実際にやっているのを見た」を挙げた人が一定数見られたことから、チラシ等での普及啓発に加えて、実演による普及啓発も有効と考えられる。

【「ははの湯」の利用ニーズ、課題】

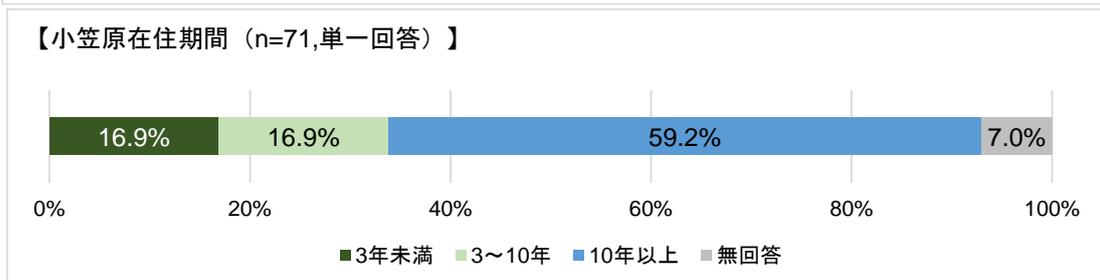
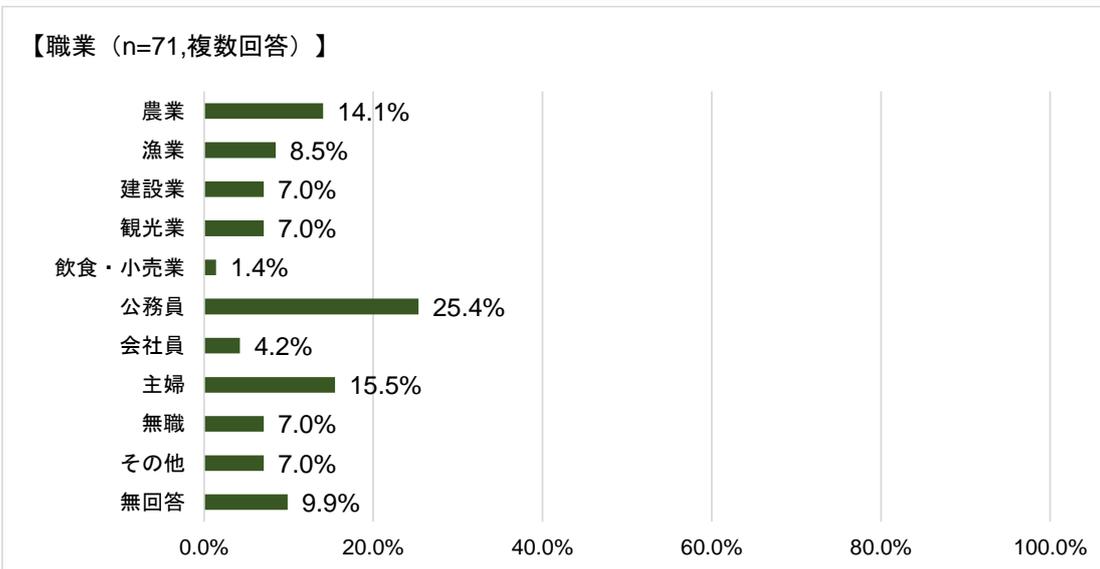
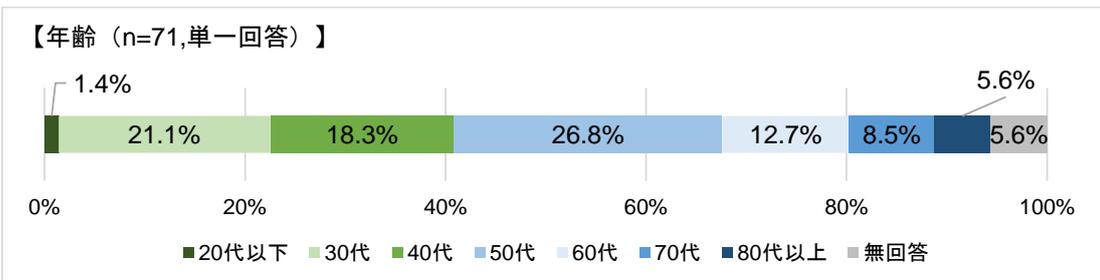
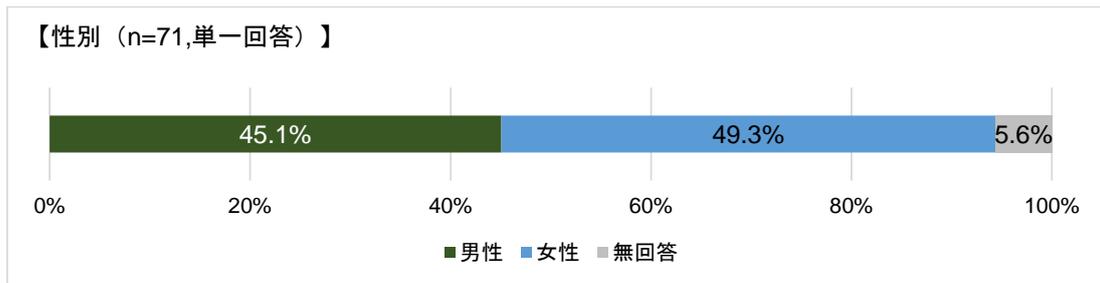
- ・島外からの土付き苗の入手について、過去に入手経験のある人は約4%、今後入手希望がある人は約10%と、かなり限られた。
 - ・入手希望のある人の多くは、「ははの湯」の利用に肯定的であったが、否定的な回答をした人の理由としては、「苗への悪影響が不安だから」、「面倒だから」などであった。
 - ・協力いただくために必要なこととして、約5~6割の人が「温浴の必要性について、理解を促すとよい」、「温浴の段取りや手順について、周知を図るとよい」、「苗への影響についての説明があると良い」と回答した。
 - ・次いで、「島内で種子や苗をもっと販売してほしい」、「温浴を代行してもらえるサービスがあるとよい」、「仮設設備ではなく、常設の温浴設備があるとよい」といった意見も約3割に上った。
- ⇒島内での苗販売、温浴の代行サービス、温浴設備の常設化等、新たなサービス・取組の導入も期待されているが、それ以上に対策の必要性や苗への影響など、丁寧な普及啓発が求められていると考えられる。

3. 集計結果詳細

■ 回答者の属性

性別、年代、職業、小笠原在住期間

- ・性別は「男性」、「女性」がほぼ半々、年齢は半数以上が「50代以上」であった。
- ・職業は「公務員」が最も多く約 25%、次いで「主婦」、「農業」が各 15%程度であった。
- ・小笠原在住期間は、「10年以上」が約 6割に上った。

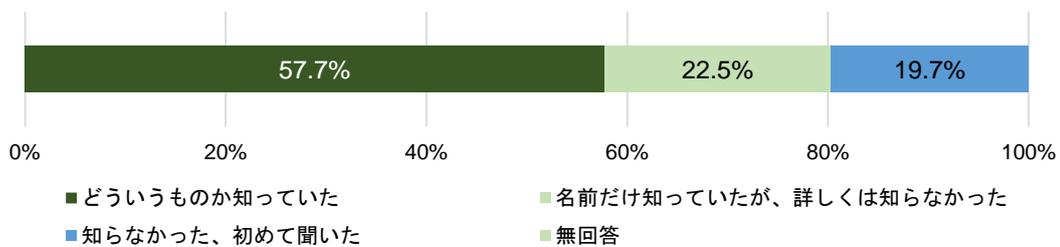


【Q1】 「ははの湯」の認知状況

「ははの湯」についてご存じでしたか？（あてはまるもの1つに✓）

- ・「どういうものか知っていた」が約6割を占めた。
- ・一方で、「知らなかった、初めて聞いた」が約2割見られた。

【「ははの湯」の認知状況（n=71,単一回答）】

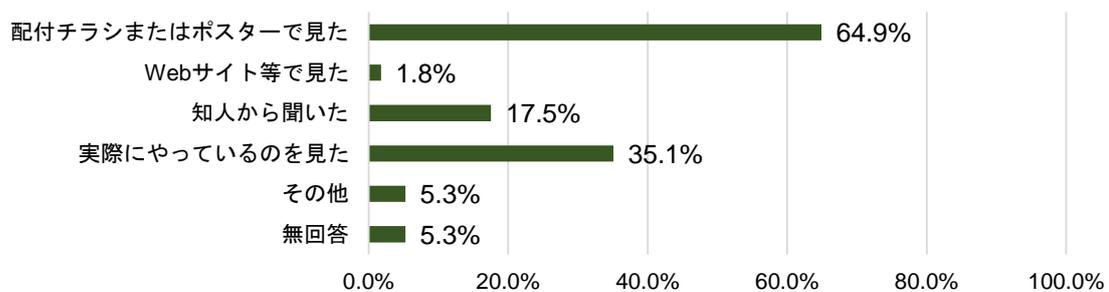


【Q2】 「ははの湯」を知ったきっかけ

「Q1」で「知っていた」または「名前だけ知っていた」と回答された方へ。「ははの湯」を知ったきっかけを教えてください。（あてはまるもの全てに✓）

- ・「配付チラシまたはポスターで見た」が最も多く6割以上を占めた。
- ・次いで、「実際にやっているのを見た」が35%であった。
- ・その他の具体例としては、「実際に利用した」、「実演を見た」といった回答が見られた。

【「ははの湯」を知ったきっかけ（n=57,複数回答）】



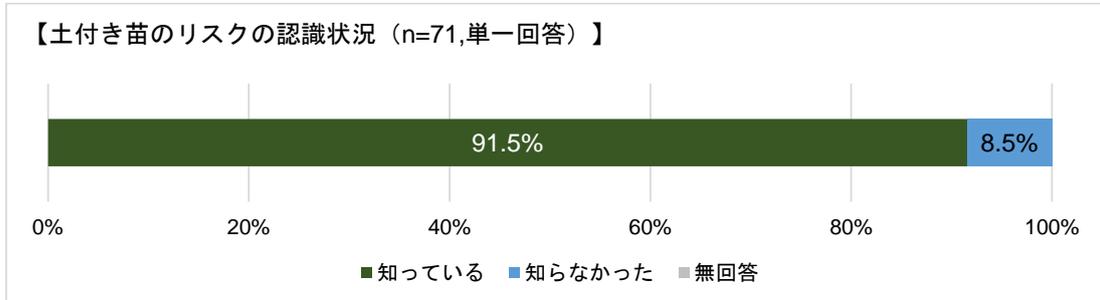
その他の具体例	件数
実際に利用した	2件
説明会で話を聞いた、実演も見た。	1件

※n=3、上記は原文を一部編集して概要を掲載

【Q3】 土付き苗のリスク

島外から持ち込まれる土付き苗に、外来種などの生きものが潜んでいる可能性があることとはご存知でしたか？（どちらか1つに✓）

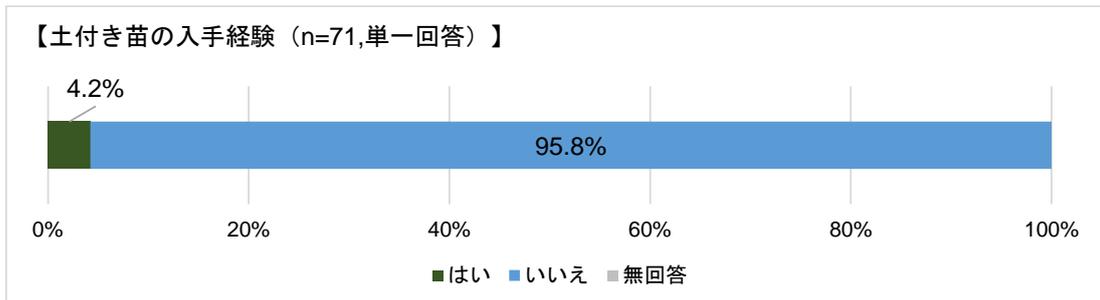
・9割以上が土付き苗のリスクを「知っている」と回答した。



【Q4】 土付き苗の入手経験

過去3年以内に、島外から土付き苗を入手したことがありますか？（父島からの持ち帰り、通販購入も含む）（どちらか1つに✓）

・95%以上が土付き苗を入手した経験はないと回答した。



【Q5】 入手した苗の情報

Q4で「はい」と回答された方へ。入手した苗について、できるだけ詳しく教えてください（時期・種類・数量・入手元）

・具体情報は下記のとおりで、種類は花卉、ハーブ、野菜などであった。

時期	種類・数量	数量	備考
2021年	ブロッコリー、ナス、オクラ、ゴーヤなどの野菜の苗（合計10鉢程度）	ホームセンター	
2020年 2021年	バラ（各年5鉢程度）	長野県の販売業者	
2020年	ローズマリー（6鉢）、タイム（3鉢）、オレガノ（3鉢）	熊本県の販売業者	「ははの湯」を利用し、持ち込み

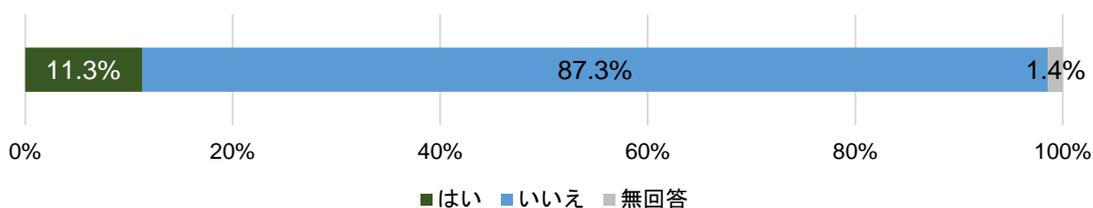
※n=3（Q4で「はい」と回答された方全員）、上記は原文を一部編集して概要を掲載

【Q6】 土付き苗の入手希望

今後、島外から土付き苗を入手する予定や希望はありますか？（どちらか1つに✓）

- ・土付き苗の入手について、約9割はないと回答した。
- ・一方で、入手希望があるとの回答は1割程度で、土付き苗の入手経験と比較すると割合が若干高く、「これまでに入手したことはないが、今後入手してみたい」という層がわずかながらいるとみられる。

【土付き苗の入手希望（n=71,単一回答）】



【Q7】 温浴への協力

Q6で「はい」と回答された方へ。今後、島外から土付き苗を入手する際に、温浴の実施を願えますか？今後、島外から土付き苗を入手する予定や希望はありますか？（あてはまるもの1つに✓）

- ・多くの人が「ははの湯」の利用について、肯定的な回答だったが、「温浴を自分でやってもよい」という人は半数に留まった。
- ・また、「するつもりはない」という回答も見られた。

温浴への協力	人数
「ははの湯」に苗を持ち込み、温浴を自分でやってもよい	3人
苗を持ち込んでもよいが、その後の作業はやってもらいたい	3人
するつもりはない	2人
土付き苗の入手自体を控える	0人
その他	0人
無回答	0人

※n=8, 母数が少ないため、一覧表形式で整理した

【Q8】 温浴に協力するつもりはない理由

「Q7」で「するつもりはない」と回答された方へ。その理由をお聞かせください。(あてはまるもの全てに✓)

- ・ Q7 で温浴に協力するつもりはない、との回答をしたのは 2 名のみだったが、2 名とも「苗への悪影響が不安だから」、「面倒だから」との理由を選択していた。

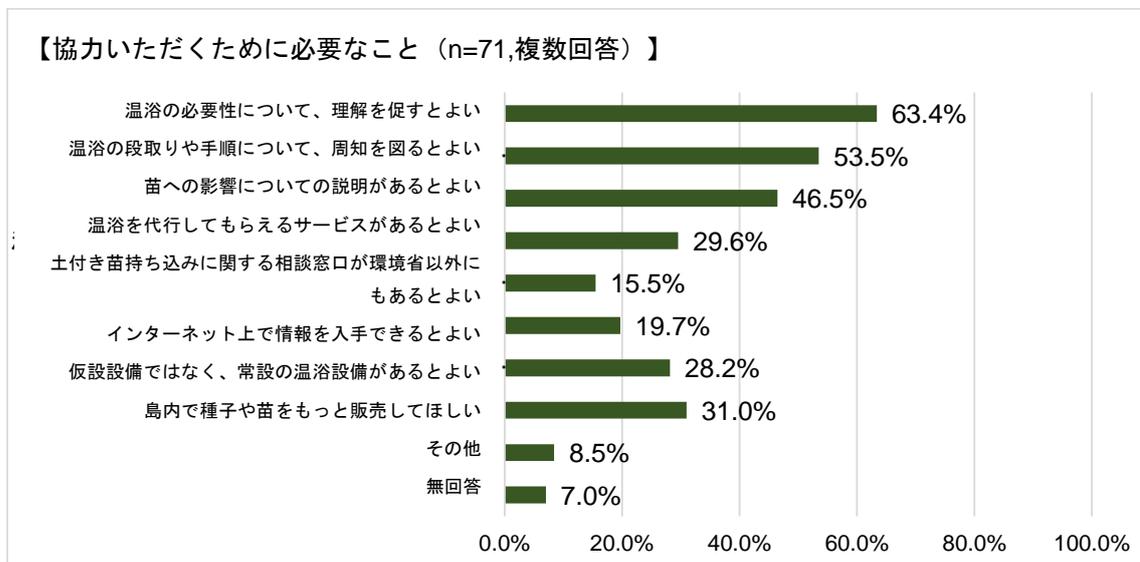
温浴に協力するつもりはない理由	人数
苗への悪影響が不安だから	2 人
温浴までの段取りがよく分からないから	1 人
温浴に外来種対策効果があるとは思えないから	0 人
苗を購入したことを他人に知られたくないから	0 人
面倒だから	2 人
自主ルールなのでする必要ないと思うから	1 人
環境省に連絡するのは気が引けるから	1 人
その他	0 人
無回答	0 人

※n=2, 母数が少ないため、一覧表形式で整理した

【Q9】 協力いただくために必要なこと

より多くの方に「ははの湯」の取り組みに協力いただくため、必要だと感じることをお聞かせください。(あてはまるもの全てに✓)

- ・ 「温浴の必要性について、理解を促すとよい」が最も多く 6 割を超えた。
- ・ また、「温浴の段取りや手順について、周知を図るとよい」、「苗への影響についての説明があるとよい」との回答も半数を超えている。
- ・ 次いで、「島内で種子や苗をもっと販売してほしい」、「温浴を代行してもらえるサービスがあるとよい」、「仮設備ではなく、常設の温浴設備があるとよい」がそれぞれ約 3 割を占めた。



【Q9】 協力いただくために必要なこと（続き）

- ・その他の具体例としては、「ははじま丸内、下船時の周知（ビデオ放映、ポスター設置）」、「条例化」、「インセンティブの付与」等の回答が見られた。

その他の具体例	件数
ははの湯の存在自体の周知	1件
ははじま丸内でのビデオ放映	1件
ははじま丸下船時のポスター掲示	1件
港周辺への常設化	1件
インセンティブの付与	1件
条例化	1件

※n=6、上記は原文を一部編集して概要を掲載

■ 自由意見

島外からの新たな外来種や病害虫の侵入や、現在の「ははの湯」の体制について、感想・意見等がございましたらご自由にお書きください。

- ・常設化を求める意見が複数見られた。
- ・そのほか、ルールや位置付けに関するや対策手法に関するご意見・ご提案をいただいた。

分類	自由意見	件数
常設化	常設化すべき	4件
ルールの位置付け	ポスターをみると「ははの湯」に持ち込みさえすれば、苗を母島に持ち込んで良いように思えてしまう。シロアリ条例についてきちんと説明すべきだと思う。	1件
	母島に暮らすには、草花を買うことは悪い事なのではないか。	1件
	自主ルールは誰のルールなのではないか。主ルールなんだと納得できるようにPRしないと、押し付けられた感が出てきてしまうのでは。	1件
取組への協力	農家は対応可能なのか。	1件
	内地からのサプライズプレゼントには対応が難しいのではないか。	1件
対策手法	手法については諸説あったが、今のやり方で合意が取られているならば良いと思う。	1件
	苗への影響について情報提供があると良い	1件
	殺虫農薬の注入など、他の手法と選択制にできると良いのではないか。	1件
	沢山の苗を持ち込むときは連絡するかもしれないが、1本だけ持ち込む際などは、自宅でも出来る対処法を知りたい。	1件
苗の購入	通販サイトなどでの購入時に注意喚起が必要ではないか。	1件
	農協が普及啓発や実践をすると良いのではないか。	1件
	リスクの低い地域の販売業者等を紹介してもらえると良いのではないか。	1件
	島内で苗を販売してもらえると良い。	1件
	外来植物や園芸品種ではなく、固有植物を栽培するようにしたら良いのではないか。	1件
より協力しやすいしくみ	ゴミ収集のように、苗の持込み日を決めてはどうか？	1件
	苗が島内に入ったことがわかった時に、港で止めておくような条例も必要ではないか。	1件
その他	実際に「ははの湯」を利用したが、作業が大変だった。	1件
	島内の歩道に外来植物が見られる。観光客の衣服に外来植物の種子が付いている可能性も考えられるため、対策を考える必要があるのではないか。	1件
	園芸土やたい肥についても対応が必要ではないか。	1件

※n=14、上記は原文を一部編集して概要を掲載

4. (参考) 案内文、調査票

Do you know “ははの湯”？



母島集落で見られるウスカワマイマイやアジアベッコウマイマイ、近年固有マイマイに影響を与えていることが明らかになったエリマキコウガイビルなどの外来種は、土付き苗に紛れて持ち込まれたと考えられています。

ははの湯 は島外からの土付き苗に対して「温浴」をおこない、苗に潜む外来種が母島に入ってくることを防ぐための取り組みです。令和2年から母島の「自主ルール」として暫定運用を開始し、土付き苗の所有者からのご依頼に応じて沖港駐車場に仮設テントを設置し、温浴をおこなっています。



詳しくは、環境省母島事務室（3-2577）までお気軽にお問い合わせください

※小笠原自然情報センター（<http://ogasawara-info.jp/>）からも「ははの湯」の取り組みやポスターをご覧ください

【母島の皆様へ】

アンケートのご協力をお願いします！

「ははの湯」をより良いものにしていくため、アンケート調査を実施します。ご回答いただいた内容は、プライバシーの保護に配慮したうえで取りまとめ、今後の取り組みの参考とさせていただきます。

母島の自然や産業を守っていくため、皆様のご協力をお願いいたします。

令和4年1月 環境省小笠原自然保護官事務所 和田 慎一郎

《記入方法と提出方法》

下記のいずれかの方法でご回答ください（内容は同じです）

※本アンケートの回答により罰則等が生じることは一切ありません

【入力フォームの場合】

- ・下記URLまたはQRコードから入力ページにアクセスしてください
- ・表示された質問について、該当する選択肢にチェックを入れてください
- ・該当する選択肢がない場合は、その他の欄に入力してください
- ・最後に「送信」を選択してください

<https://forms.gle/PewuJVUgBZ3nqyR97>



【用紙の場合】

- ・同封の用紙に記載の質問について該当する にチェックを入れてください
- ・該当する選択肢がない場合は、その他の欄にご記入ください
- ・村役場母島支所と村民会館の2箇所に **2月10日（木）**まで回収箱を設置しておりますので、そちらに投函してください。また、環境省母島事務室（静沢）の郵便ポストに投函いただいても構いません。

【お問合せ先】 環境省母島事務室（3-2577）

【ははの湯に関するアンケート調査】

Q1. 「ははの湯」についてご存知でしたか？（あてはまるもの1つに✓）

- どういうものか知っていた
- 名前だけ知っていたが、詳しくは知らなかった
- 知らなかった、初めて聞いた → Q3以降にお進みください

Q2. 「Q1」で「知っていた」または「名前だけ知っていた」と回答された方へ。
「ははの湯」を知ったきっかけを教えてください。（あてはまるもの全てに✓）

- 配布チラシまたはポスターで見た
- Webサイト等で見た
- 知人から聞いた
- 実際にやっているのを見た
- その他（下の空欄にご記入ください）

Q3. 島外から持ち込まれる土付き苗に、外来種などの生きものが潜んでいる可能性があることはご存知でしたか？（どちらか1つに✓）

- 知っている
- 知らなかった

Q4. 過去3年以内に、島外から土付き苗を入手したことがありますか？（父島からの持ち帰り、通販購入も含む）（どちらか1つに✓）

- はい
- いいえ → Q6以降にお進みください

（裏面へつづく）

Q5. Q4で「はい」と回答された方へ。

入手した苗について、できるだけ詳しく教えてください（時期・種類・数量・入手元）

Q6. 今後、島外から土付き苗を入手する予定や希望はありますか？

（どちらか1つに✓）

はい

いいえ → Q9以降にお進みください

Q7. Q6で「はい」と回答された方へ。

今後、島外から土付き苗を入手する際に、温浴の実施をお願いしますか？

（あてはまるもの1つに✓）

「ははの湯」に苗を持ち込み、温浴を自分でやってもよい

苗を持ち込んでもよいが、その後の作業はやってもらいたい

するつもりはない

土付き苗の入手自体を控える

その他（下の空欄にご記入ください）

（2枚目へつづく）

Q8. 「Q7」で「するつもりはない」と回答された方へ。

その理由をお聞かせください。

(あてはまるもの全てに✓)

- 苗への悪影響（温浴障害）が不安だから
- 温浴までの段取り（手続き、連絡先など）がよく分からないから
- 温浴に外来種対策効果があるとは思えないから
- 苗を購入したことを他人に知られたくないから（サプライズプレゼント等）
- 面倒だから
- 自主ルールなのでする必要ないと思うから
- 環境省に連絡するのは気が引けるから
- その他の理由（下の空欄にご記入ください）

Q9. より多くの方に「ははの湯」の取り組みに協力いただくため、必要だと感じることをお聞かせください。 (あてはまるもの全てに✓)

- 温浴の必要性について、理解を促すとよい
- 温浴の段取りや手順について、周知を図るとよい
- 苗への影響についての説明があるとよい
- 温浴を代行してもらえるサービスがあるとよい
- 上付き苗持ち込みに関する相談窓口が環境省以外にもあるとよい
- インターネット上で情報を入手できるとよい
- 仮設備ではなく、常設の温浴設備があるとよい
- 島内で種子や苗をもっと販売してほしい
- その他（下記の空欄にご記入ください）

(裏面へつづく)

Q10. 回答者ご自身のことについてお尋ねします。

① 性別

男性 女性

② 年代

20代以下 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上

③ 職業 (あてはまるもの全てに✓)

農業 漁業 建設業 観光業 飲食・小売業 公務員 主婦 無職
その他 ()

④ 小笠原在住期間

3年未満 3～10年 10年以上

Q11. 島外からの新たな外来種や病害虫の侵入や、現在の「ははの湯」の体制について、感想・意見等がございましたらご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。